大栃小学校 ヒノキの植林体験

１１月５日、大栃小学校１、2年生が物部町頓定(とんじょう)の民有地でヒノキの植林体験を行いました。植林地は大栃小学校を見下ろす見晴らしの良い場所にあります。植林体験の前に、講師の物部森林組合の皆さんから森の働きや組合の仕事について教えてもらいました。

香美市はシカやウサギの食害を受けているため、今回は植林したヒノキに獣害防止チューブを付けることになりました。土が固いところもあって、植え付けの穴を開けるのに苦労していましたが、獣害防止チューブの支柱を埋め込む作業は器具を使ってとんとんと楽しみながら行っていました。

スポーツニュース！ 香美市体育大会

香美市体育大会の結果をお知らせします。

１１月２５日、土佐山田マレットゴルフ場で開催されたマレットゴルフの結果は、１位は高野三千代さん、２位は城山美津子さん、３位は中内イクノさんでした。

１２月１２日、土佐山田スタジアムで開催されたグラウンド・ゴルフは、１位は並川安子さん、２位は宮地幸さん、３位は高野三千代さんでした。

▲マレットゴルフ　▲グラウンド・ゴルフ

シトラスリボン贈呈式

１１月２６日、ふれあいサロン(ふれあい交流センター　デイサービス事業)から香美市の新型コロナワクチン接種業務にご尽力頂いている医療従事者の皆さんへ３２５個のシトラスリボンが贈呈されました。

贈呈式では、香美郡医師会副会長岩河基行さんに代表で受け取っていただきました。

コロナ差別を無くそうと愛媛県から始まったシトラスリボンプロジェクト。ふれあいサロンも賛同し、シトラスリボンにつまみ細工の青いバラを添えたブローチやストラップを、感謝の気持ちとコロナ収束の願いを込めて一つ一つ手作りして『皆さまの努力のおかげで楽しい一日を過ごすことができ、感謝しています』など手書きのメッセージを添えて贈りました。

１２月３日、日本赤十字社香美市地区長（香美市長）から、株式会社テラムラ代表取締役寺村勉さんへ『銀色有功章』の楯が贈られました。

有功章は、日頃から赤十字活動に深くご理解いただき、多額の社資（赤十字事業資金）を納めた法人に対し、日本赤十字社から感謝の意を表すものです。

長年にわたりいただいた善意は、災害救助活動や献血事業、赤十字ボランティア活動、国際活動などに役立てられています。

まちの話題

小惑星『谷秦山』

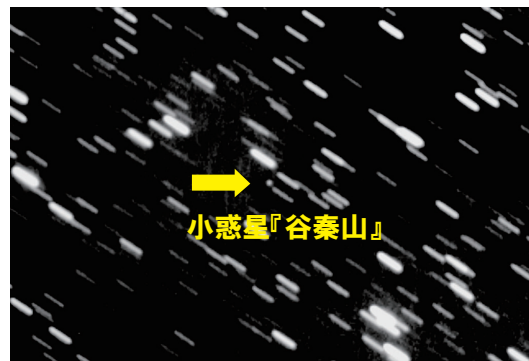
１１月２９日、国際天文学連合（IAU）は、高知県立芸西天文学習館で関勉さんが１９９３年１１月１５日に発見した小惑星（1993 VP2、番号：４３８５７）に『Tanijinzan＝谷秦山』と命名されたことを発表しました。

関さんは、高知市在住で、『池谷・関彗星』の発見などで、世界的にコメット・ハンターとして知られています。（詳細：２０２１年１２月広報４～５ページ掲載）

１０月３１日に香北町で開催された天文講演会において、宮地竹史さん(元石垣島天文台所長、香美市出身、香美市観光大使（詳細：２０２１年１２月広報２～３ページ掲載）)と講演された際、お二人で「香美市ゆかりの谷秦山の名前を小惑星に命名しよう」と相談され、国際天文学連合に申請することを市長に約束してくださっていました。

講演直後の１１月初めに関勉さんが国際天文学連合へ申請し、今回承認されたものです。通常は命名されるまでに数カ月から数年かかりますが、今回は１カ月足らずという異例の速さで承認、発表され、関係者を驚かせています。

小惑星『谷秦山』は、１２月２日現在、オリオン座内（１等星ベテルギウスの右上）にあり、地球からの距離は、約２億６千万kmです。明るさは17.1等星で大変暗く、肉眼では見ることができません。太陽系内の位置は、火星と木星の間にあり、周期4.63年で太陽の周りを回っています。

関さんと宮地さんのお二人のご尽力により、小惑星に『香美市』、『谷秦山』など市にちなむ名前が次々に命名されております。市としましても、『星のまち香美市』をPRできるよう、取り組んでいきます。

▲撮影者：佐藤裕久さん(福島県須賀川市在住)

ファーストスプーン作り

香美市在住の妊婦・乳幼児の保護者を対象に、公益法人高知県森と緑の会の主催で１０月２０日、１０月２７日に、子育てセンターなかよしと子育てセンターぴらふで、香美市産材を使ったファーストスプーン作りが開催されました。心地よく感じる素材の木に、小さい頃から触れて自然を大切にしてほしいという思いで開催されています。

会場には託児スペースも設けられており、日ごろ子育てに励む皆さんも、少しの間育児から離れ、集中して作っていました。子どもが使いやすいスプーンにするには、「どのようにしたらいいかなと考えながら作ることで、愛着と大切に使おうという気持ちが湧きました」や、「木に直接触れて作ることで木の良さを感じることができました」という嬉しい感想も頂けました。木の心地よさや自然の大切さ、お子さんへのたくさんの愛情が感じられるイベントとなりました。

▲子育てセンターなかよし

▲子育てセンターぴらふ